

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

会長挨拶

後援会会長 柳瀬 仁



会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、本年三月十一日の東日本大震災により被災されましたご父母（保護者）および学生の方、また被災地に所縁の深いご関係の会員の皆様には謹んでお見舞い申し上げます。

平素より後援会活動にご理解、ご協力頂き心より感謝申し上げます。

さて、本年四月の東京聖栄大学入学式終了時に開催されました平成二十三年度後援会総会におきまして会長を仰せつかりました柳瀬仁です。

この一年間後援会会員の皆様

にご指導、ご鞭撻を受け賜わりながら大任を全うしていく所存でありますので宜しくお願い致します。平成十七年に発足した後援会も早や七年目を迎えます。後援会といたしましても大学と家庭の連携を密にして学生が充実した学園生活を送れるよう活動させていただいております。

今後、一層の教育環境づくりや、管理栄養士取得への支援、教職員の研究助成を図るべく支援活動、大学との共催の保護者会、会報の発行などを行ってまいります。

震災の影響で卒業式が出来ないなか、三期生が社会に巣立って行きました。今後のご活躍を祈るとともに、卒業生として後輩達のおよき見本となつて頂けることを期待しております。

最後となりましたが、皆様の

ご健康とご多幸、そして東京聖栄大学のより一層のご発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

平成二十三年度保護者会(予告)

今年度の後援会・大学共催による保護者会を、十月一日(土)に開催することといたしました。

お忙しい中、保護者の皆様



昨年度の保護者会

ご出席いただきご息、ご息女の学内での様子や、就職の展望も含めてご報告と学年担任との懇談を予定しており、本学の教育についてのご理解を一層深めていただければと思っております。

保護者会終了後は、本学多目的ホールにおいて、後援会主催の教員との情報交換会を十五時十分から十六時四十分までの予定で開催いたしますので、多くのご参加をお待ちしております。

総会・役員会報告

役員会報告

二月二十六日(土)四役会、三月十九日(土)に役員会全体会が夫々開催された。

先ず、平成二十二年事業報告、同決算報告並びに会計監査

報告があり、慎重審議の結果、同報告は承認された。

引き続き、平成二十三年事業計画案同予算案を審議、夫々承認された。

さらに進級する一部の役員の方の二十三年度留任が決定。

総会

四月二日(土)の大学入学式当日、本学わたなべ記念館に於いて、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催された。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認された。

引き続き、本年度事業計画案、同予算案が承認された。

次に役員の変更が行われ、新任・委嘱された新役員の方々のご紹介の後、新会長には柳瀬仁氏が選任され、平成二十三年度役員が満場一致で承認された。

平成23年度後援会役員紹介

会長	4NA	柳瀬 仁	善光方 一
副会長	4NB	高木 本	泉 充
副会長	1NB	村下 部	江 惠
副会長	1FA	日 金	夫 夫
監査	4FA	原 井	美 子
監査	4FA	金 小	子 鈴
監査	2NA	柳 田	仁 子
監査	3NB	土 屋	生 徹
監査	2NB	栗 橋	子 也
監査	1FB	齊 藤	乃 子
役員	4NB	中 伴	江 弓
役員	4NB	渡 木	治 子
役員	4NB	川 滝	略
役員	4FA	平 堀	
役員	3NA	東 赤	
役員	3NA	大 中	
役員	3NB	三 山	
役員	3FA	石 高	
役員	2NA	久 平	
役員	2NA	下 根	
役員	2NB	根 岸	
役員	2NB	岸 根	
役員	2FB	根 岸	
役員	1NA	根 岸	
役員	1NA	根 岸	
役員	1NB	根 岸	
役員	1FA	根 岸	
役員	1FB	根 岸	

管理栄養学科

管理栄養士国家試験

合格率上昇

管理栄養学科長 阿左美章治

本学科では、この三月に三期生を送りだし、四月には平成二十三年度入学生を七期生として新たに迎えた。三期生においては厳しい経済状況の中、卒業生の七四%が栄養関連業務に就職した。また三期生の管理栄養士国家試験の合格率は、東日本大震災の直後にも関わらず、前回よりも十四ポイント高い八二・三%を獲得した。この合格率は全国の管理栄養士養成大学の平均合格率を超えるものであり、免許を手にするこの絶対的な優位性の再認識と初志貫徹の決意を結果で示した学生個々人に大きな拍手をおくりたいと思う。

後輩達もこれを目標に頑張っているが、嬉しいものだが、特



に学習に関しては一年次生からの地道な取り組みが大切である。今年度は、震災の影響もあり、新入生研修会を学内で四月に実施し、「管理栄養士を目指す本学科生になるには？」について話し合い、基本の重要性を確認しあった。夏期休暇中、一、二年次生は休暇の課題に精を出し、三年次生は臨地実習がスタートし、就職活動も始動している。四年次生の多くは暑さを押し登校し、仲間を講師に勉強会を開くグループもあり、対策勉強を着々と進行させている。

今年度以上の成果を上げるべく国試対策室、学年担任、学科教職員とが連携を密に取り合い、対面指導をさらに充実させていく所存である。

食品学科

第一の黎明

食品学科長 丸井 正樹

食品学科には、今明るい展開が広がっている。朗報の第一は、定員を超えた新入生を迎えたこと。開学以来、学科初の達成であるが、これまでに導いた力は、何といっても卒業生の社

会での活躍と後援会の温かい支援、そして職員員の地道な努力である。加えて、誠実な教育姿勢もあると自負しているが、学生数が増え一人一人に対する教育が薄まらぬように気を引き締めた。この明るい兆しを機に、学科内の教育方針に関する議論がさらに活発になっている。これは望ましいことであり、第二の朗報といえる。学習効果を高めるために、カリキュラムの改訂や時間割編成などのワーキンググループを設置し、機能的な体制が構築されつつある。学生たちの勉学の場を整える斬新な構想も溢れており、学科内での積極的な討議が期待される。食品微生物検査技士、検査分析士などの品質管理の分野で役立つであろう新たな認定資格の導入も進められている。次回の後援会会報には、堅実に進められたさまざまな改善策の進捗状況が報告されるであろう。



学生支援センター

意見交換会・講座

六月九日に福澤理事長・学長等大学側代表者と学友会役員等学生代表者による『学生との意見交換会』が行われ、多数の意見が出された。今後出来る限り対応するよう検討をしている。

また、学生支援センターでは、学生を対象とした講座等を多数実施している。

六月十五日に、農林水産省大臣官房政策課の山口上席企画官をお招きし、『農林水産省特別講演会』を実施した。



六月二十四日には、全学的に実施している『マナー向上運動』の一環として、新入生を対象に「マナー講座」を開催した。



就職内定状況

本学四年次生の内定状況（八月末現在）は、昨年度とほぼ同率の三七・六%（昨年度比プラス一・〇ポイント）である。学生支援センターでは、四年次生向け就職対策講座を今後も継続実施する。厳しい状況下において就職活動を行う学生の、今後の検討を期待している。また、三年次生の就職活動は十二月より本格開始となる。関係者のご協力をお願いいたします。



後援会の寄贈

●学友会へのパソコン・プリンターの寄贈



学友会が使用するパソコン二台とプリンター一台を寄贈した。



学友会では、各種イベント等の書類作成や企画書作成などに使用している。
●スタンドパネル
今年も後援会は、学友会や部・同好会が使用するパネル八台を新規購入し、学友会に寄贈した。

●就職関係

●福祉施設情報
管理栄養士職等で就職する求人見込先のデータとして、『児童・障害者ホーム年鑑』を購入し、大学に寄贈した。学生支援センター内のパソコンにて学生が自由に閲覧加工でき活用されている。

●食品会社データ
食品科学学生の就職活動利用を主目的にして、『食品メーカー総覧』（約三五〇〇社）・『全国食品工場総覧』（約一七五〇〇ヶ所）のデータを大学に寄贈した。データは、学生支援センター内パソコンにて学生が自由に閲覧加工できる。
●就職関連図書

後援会では、学生支援センター就職閲覧コーナーの図書充実のため、関係図書を送りつけている。SPI対策や公務員試験対策書籍など学生が利用している。



学友会活動報告

●学友会総会・新入生歓迎会



四月十三日、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度の行事予定などが報告された。引き続き行われた「新入生歓迎会」では、本学非常勤講師（現特任教授）・HIRO包装設計研究所所長の佐々木敬卓氏による『食品・包装と表示と私たち』と題した特別講演が行われた。食品表示における言葉の工夫や活用について身近なもの为例として説明され、学生も興味を持って話を聞いていた。

●体育祭
当初五月二十七日に予定されていたが、雨天のため順延となり、六月三日に本学第一グラウンド（船橋市）において、体育祭が開催された。今年も聖栄会（同窓会）からの後援を受けて開催された。当日は天候にも恵まれ、多くの学生が参加し、歓喜に沸いた。体育祭となった。



●聖栄葛飾祭（大学祭）予告
今年の『聖栄葛飾祭』は、十一月五日（土）、六日（日）に開催される。今年も例年同様、葛飾区の後援、地元地域の協力等を得て開催される。
今年のテーマは「Health & Beauty」食事から美しく！食事から健康に！！に決定した。多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

●部・同好会活動
現在の学友会の認可団体は、部が八団体（体育系・四団体、文化系・四団体）、同好会が十二団体（体育系・七団体、文化系・五団体）の計二十団体である。どの団体も熱心に活動をしており、他学年の学生と交流を持つ良い機会となっている。各団体には、今年度も引き続き大学関係行事等への参加協力等が期待される。



●東京消防庁より感謝状を受賞
東京消防庁救急部長より、多年にわたり救急業務への充実発展に多大な貢献があったことが評価され感謝状を受賞した。本学は、平成十八年にAEDを設置し、以後、毎年AED操作を含めた「普通救急講習」を実施している。現在までに延べ一三九人の学生が「救命技能認定証」を交付されている。



大学トピックス

副会長挨拶

後援会副会長 日下部 泉



挨拶の大切さ

挨拶は、人として必要で大切な物である。「親しき仲にも礼儀あり」と言う。例えば家族、友人であつても、礼は不可欠である。朝、顔を合わせて「お早うございます」と言えば、お互い気持ちよく、話のきつかけにもなる。今、挨拶のできない人が多い。大切な門出で「礼儀知らず、非常識」と言われ、躓く事になる。学校で部活動をした人が割合に社会に馴染むのは、挨拶、マナーを身に付けているからである。人は残念ながら教えられないと解らない。だから「氏より育ち」という言葉がある。親、教師が模範を示さなければならぬ。礼儀は形が伴って初めて礼になる。「形から入って心に至る」である。学生皆が、挨拶を交わすという繰り返しで、礼の大切さを理解してください。

後援会副会長 村本光方



学生のみなさんに日本の将来を託す

後援会の皆様におかれましては益々のご健勝のことと存じます。学生の皆さんには、今後の日本の将来を託さざるを得ません。明るい未来を創造し、逞しく学生生活を送ってほしいと思います。

富士の如くドッシリと構え、何事にも揺るがない自分自身を築いて行つてもらいたいと思います。

「桜梅桃李」と言う言葉が、ありますが、自分自身にしか出来ない事があるのです。勇気を持って物事に動じない人間に育ち自己啓発に励んで下さい。失敗を恐れず、前へ前へと進んで、大いなる明日に向かって、前進。



管理栄養学科担任紹介

一年担任 高橋 祥子准教授



一年副担任 橋場 直彦准教授



一年副担任 吉田真知子助手



二年担任 橋場 浩子教授



二年副担任 篠原 尚子助手



三年担任 渡辺 順子准教授



三年副担任 星野 浩子助手



四年担任 岡田 弘教授



四年副担任 植松 節子准教授



食品学科担任紹介

一年担任 前田 宜昭教授



一年副担任 片山 佳子講師



二年担任 荒木 裕子准教授



二年副担任 吉田 光一講師



三年担任 品川 弘子教授



三年副担任 植芝 牧准教授



四年担任 井筒 雅教授



四年副担任 丸井 正樹教授



編集後記

今年の「聖栄葛飾祭」では、学生による東日本大震災関係の義援金募集を予定しています。ご来校、ご協力をお願いします。